

**BIM 導入を予定している建設会社の方向けに「BIMの本質とあるべき姿」等を解説
【2022/12/7 11:00】BIM エバンジェリスト 伊藤久晴氏による BIM 特別講演が決定
BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」を提供する野原グループがブース内セミナーを開催**



■左：12月7日に BIM 特別講演が決定した伊藤久晴氏
右：野原ホールディングス BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」ブースイメージ（2021年度）

野原ホールディングス株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）は、2022年12月5日から7日まで東京ビッグサイトで開催される「第2回建設DX展」に出展し、**建設業界の生産性向上と廃材削減（CO2削減）を支援する BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ）**を展示、紹介します。（弊社ブースの小間番号：21-3）

会期最終日の12月7日、BIM エバンジェリストとして多数の実績を誇る、**株式会社 BIM プロセスイノベーション 代表 伊藤久晴氏による特別講演（弊社ブース内で限定開催）が決定**したことをお知らせします。

講演テーマ	なぜ日本の BIM はダメなのか？～BIM のレジェンドが示す日本の建設業の未来～	
聴講をお薦めしたい方	BIM 導入を予定している、または導入しているがなかなか成果が上がらないと考えている建設会社の方	
講演者	伊藤 久晴氏 ※プロフィールは別紙をご参照ください	
開催日時	2022年12月7日（水） 11:00-11:30	
開催場所	東京ビッグサイト 西展示棟（〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1） 野原ホールディングス BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」ブース 【ブース番号】21-3 【アクセス】りんかい線「国際展示場駅」/ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」	
聴講方法	第2回建設DX展に事前登録のうえ、開催日時に、野原ホールディングス BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」ブース（ブース番号：21-3）にお越しください。 ※事前予約なし、来場先着順、スペースの関係上座席の用意はありません。 ※弊社ブースに限定した、 展示会 e 招待券（弊社出展情報と無料招待券のセット） をご活用いただけます。（URL は後述）	
その他	第2回建設DX展の詳細は、公式サイトをご確認願います。 https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp.html	
問合せ先	【一般のお客さま】 野原ホールディングス株式会社 建設DX推進統括部 e-mail： info@build-app.jp	【報道関係者】 野原ホールディングス株式会社 マーケティング部（担当：齋藤、森田） TEL：03-6328-1576

●伊藤久晴氏による特別講演の開催場所（東京ビッグサイト 西展示棟）



●伊藤久晴氏による特別講演の詳細と、同氏のご紹介
別紙をご確認願います。

第 2 回建設 DX 展（東京） 野原ホールディングス 出展概要

1. 主な展示予定（弊社ブース番号：21-3） ※詳細は後日発表



BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ） は、2,500 万㎡超（東京ドーム約 535 個分）の内装積算¹実績と建具の豊富な施工実績、BIM²やデジタル技術を集約させています。

私たちが得意とする「内装・建具工事」の関係者を BIM 起点のデータで繋いで連携を生み、工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消し、サプライチェーン変革により、生産性向上・廃材削減・CO2 削減に貢献します。私たちは、政府による産業界内のデジタル活用強化や 2050 年までのカーボンニュートラル³宣言を踏まえ、DX⁴による生産性向上や廃材・CO2 排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーン⁵を変革し、業界をアップデートしたいと考えています。



●BuildApp ブース（小間番号 21-3）の見どころ

1. BuildApp 内装（ゼネコン～工事店～メーカーを結ぶプロセスの変革）
AR での BIM-プレカット施工デモ、事例紹介
2. BuildApp 建具（ゼネコン～メーカー～工場を結ぶプロセスの変革）
「建具施工図自動化」「建具 BIM 生産連動」のデモ、事例紹介
3. VR コーナーデモ
VR による最先端の施工管理体験、空間キャプチャー技術が特長の Matterport（マターポート）体験
4. BIM エバンジェリスト 伊藤 久晴氏による特別講演 ※2022 年 12 月 7 日 11：00～11：30
なぜ日本の BIM はダメなのか？～BIM のレジェンドが示す日本の建設業の未来～

2. 展示会 e 招待券（弊社出展情報と無料招待券のセット）

<https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp/search-ex/2022/kdx/directory/details.org-da18482b-9ff0-4520-915a-2fcd6f983a1a.html#/>

3. 第 2 回建設 DX 展（東京）について

イベント名	第 2 回建設 DX 展（RX Japan 株式会社主催 ジャパンビルドー建築の先端技術展一内）
開催期間	2022 年 12 月 5 日（月）～12 月 7 日（水） 各日 10:00～18:00（最終日は 17:00 終了）
会場名	東京ビッグサイト 西展示棟（〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1） りんかい線「国際展示場駅」（徒歩約 7 分）/ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」（徒歩約 3 分）
弊社ブース	21-3
入場料	5,000 円（税込）※事前登録の場合は無料
WEB	https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp.html

野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッション実現に向け、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。

<https://nohara-inc.co.jp>



お問合せ先

【お客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
建設 DX 推進統括部
e-mail : info@build-app.jp

【報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
マーケティング部
ブランドコミュニケーション課
担当：齋藤、森田
e-mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp
TEL : 03-6328-1576

- ¹ 非住宅分野における内装工事の詳細は、建設産業担い手確保・育成コンソーシアムより発表されている「【内装仕上げ工事ガイドブック第 13 版】」を参照願います。https://www.kensetsu-kikin.or.jp/database/pdf/%E5%BB%BA%E8%A8%AD%E7%8F%BE%E5%A0%B4%E3%81%A7%E5%83%8D%E3%81%8F%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E5%9F%BA%E7%A4%8E%E7%9F%A5%E8%AD%98%EF%BC%88%E5%86%85%E8%A3%85%E4%BB%95%E4%B8%8A%E5%B7%A5%E4%BA%8B%E7%B7%A8%EF%BC%88%E9%9D%9E%E4%BD%8F%E5%AE%85%E7%B7%A8%EF%BC%89%EF%BC%89_201912.pdf
また、積算とは図面などの設計図書をもとに建設プロジェクトで使用する材料とその数量を拾い出し（計算して）、建物を建てるのに必要な金額を算出していく作業を言います。
- ² BIM（ビム/Building Information Modeling の略称）とは、建築物のデジタルモデルに、部材やコストなど多様な属性データを追加した建築物のデータベースを持たせ、設計・施工・維持管理の各プロセスを横断して活用するためのソリューションです。野原グループでは、2017 年より BIM 事業に注力しています。
- ³ 政府は、2020 年 10 月に 2050 年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）を目指すことを宣言しました。同年 12 月には、経済産業省が中心となり、関係省庁と連携して「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」も策定しています。国土交通省からは、地球温暖化緩和策が発表されています。（<https://www.mlit.go.jp/common/001386820.pdf>）
- ⁴ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、経済産業省に定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。
- ⁵ サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのこと。